障がいのある人とその家族が
地域の中で尊厳を保ちながら
普通の暮らしが出来るよう支援する

NEWS

社会福祉法人
京都障害者福祉センター

4月号
No. 222 R4/4/1
編集：支援センター
発行：本部事務局
http://www.kyofc.or.jp

～新型コロナウイルス～感染再拡大に警戒を～

３月２１日をもってまん延防止重点措置が解除されましたが、新規感染者数の減少スピードは緩やかで、全国的には増加に転じている地域もあることや，今後オミクロン株の別系統であるBA.2系統に置き換わることで、再度増加に転じる可能性が示唆されています。

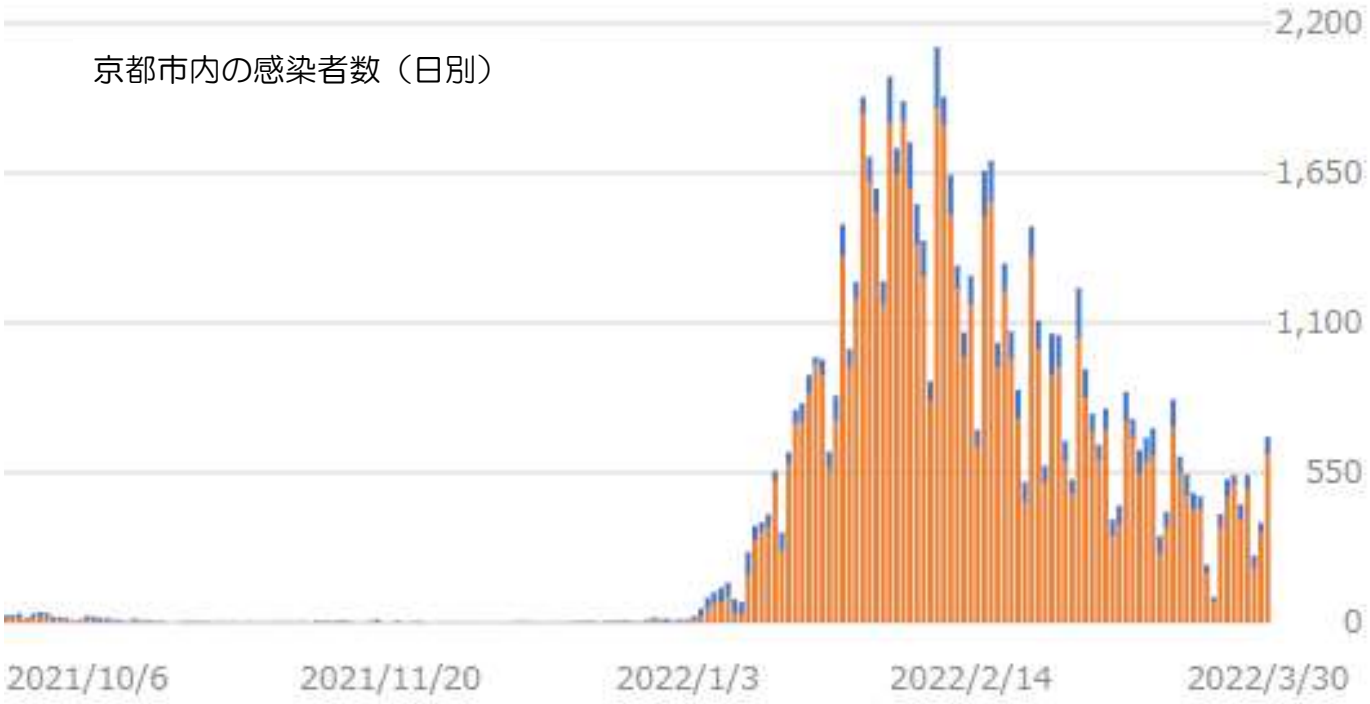
新年度を迎え，入学，就職、転勤など人の動きが活発な時期になることから，感染再拡大が強く懸念されます。

当法人の施設では、職員、職員の家族、利用者及び利用者の家族で、ＰＣＲ検査を受けられる事例が先月３月は９件（２月：３１件）で、累計で２０６件となりました。

新型コロナウイルスとの闘いも３年目に入りました。

職員の皆さんにおかれましては、引き続きマスクや手洗いの徹底、密の回避（1 密にも留意)、換気や湿度調節など、基本的な対策を継続していただきますようお願いします。

京都市内の感染者数（日別）



令和３年度第５回理事会が開催され、令和４年度予算・事業計画、規則等の一部改正等が承認されました。

令和３年度第５回理事会が、理事、監事出席の下、３月１７日（木）午後２時から、洛南身体障害者福祉会館において開催されました。

理事会では、令和４年度予算・事業計画、規則等の一部改正、施設長の人事発令等について、審議され、承認されました。

審議事項は次のとおりです。

第１号議案　令和３年度第２次補正予算案について
第２号議案　令和４年度予算案について
第３号議案　令和４年度事業計画案について
第４号議案　規則等の一部改正について
　４‐１　職員就業規則の一部改正（支援センターの勤務時間）
　４‐２　職員給与及び退職金支給規程の一部改正（臨時処遇手当）
　４‐３　職員給与及び退職金支給規程施行細則の一部改正（第２種手当及び日割計算表）
　４‐４　期末勤勉手当支給要綱の一部改正（事故欠勤の取扱い）
　４‐５　育児・介護休業等に関する規則の一部改正（産後パパ育休の創設他）
　４‐６　経理規程の一部改正（残高の確認）
第５号議案　施設長等の人事発令について
第６号議案　指定管理者の応募について
第７号議案　役員等賠償責任保険の契約について
第８号議案　日本財団助成車両の無償譲受の承認について

令和３年度第３回評議員事業報告会が開催され、令和４年度事業計画等について、活発な質疑応答が行われました。

令和３年度第３回評議員事業報告会が、評議員、理事、監事出席の下、３月２４日（木）午後２時から、京都テルサにおいて開催されました。

評議員事業報告会では、事務局から法人事業運営に関する報告がされ、市財政が厳しい中今後の予算編成の見込み、施設整備の今後の見込み、ハラスメントの相談窓口などについて、活発な質疑応答が行われました。

主な報告事項は次のとおりです。

１　下期の主な業務執行状況について
２　新型コロナウイルス感染症への対応と影響について
３　令和３年度第２次補正予算について
４　令和４年度予算について
５　令和４年度事業計画について
６　福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による処遇改善について
７　指定管理者の応募について
８　施設長等の人事異動について
９　資産運用状況について
10　令和４年度評議員会等年間開催予定について

令和４年４月１日付人事異動・採用発令式が挙行されました。

令和４年４月１日付人事異動・採用発令式が、理事、対象者出席の下、４月１日（木）午前９時３０分から、洛南身体障害者福祉会館において挙行されました。
前田理事長から一人ひとりに辞令が交付され、激励の挨拶がありました。
昇任、採用された皆さん、誠におめでとうございます。
皆さんの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

（１）採用

ふしみ学園	支援員	小森由加里（嘱託より）
放課後等デイらいと	支援員	礒谷　　光（新卒採用）
山科授産所	支援員	小野　匠馬（新卒採用）

（２）昇任

いたはし学園	園　長	河村　剛士（副園長より）
だいご学園	園　長	谷口　隆之（副園長より）
山科障害者デイ	副所長	関　　裕士（主　任より）
生活サポートとらい	副主任	大久保直樹（支援員より）
山科会館	副主任	奥村　友章（支援員より）
やましな学園	副主任	東海林　勝（支援員より）
だいご学園	副主任	前田　良紀（支援員より）

（３）異動

いたはし学園	副主任	濱中　優希（ふしみ学園より）
山科障害者デイ	副主任	八木　　証（デイスポット楽より）
洛南授産所	支援員	海東　啓子（山科障害者デイより）
ふしみ学園	支援員	平嶋　麻由（洛南授産所より）
放課後等デイらいと	支援員	岡田　健右（いたはし学園より）
生活サポートほっと	支援員	今村　朋里（放課後等すてーじより）

（本部事務局）

洛南エリアTOPICS　【洛南身障会館】

会館職員で内部研修を実施しました。

内部研修を実施することは珍しいことではありませんが、会館の職員だけで企画したのは今回が初めてでした。コロナ禍にあって多くの行事が中止となり、様々な制限が加わる中で、「できることをやっていきたい」という機運が高まっていたのかもしれません。

会館は身体に障害のある方がたの生活と心の拠りどころとしてスタートしました。身体障害者福祉法に準じて運営されており、今も身体障害者手帳をお持ちの方が利用の対象となっています。

近年、多機能型事業では障害者総合支援法により身体障害者手帳以外をお持ちの方も利用対象となり、また京都市から委託を受けて実施している「就労向け IT 教室」でも三障害を利用対象としているため、ロビーのご利用も含めて療育手帳や精神保健福祉手帳をお持ちの方と接する機会が増えるようになりました。

そうした中で、「精神障害の特性」をテーマにし、理解を深めようと話し合いました。
おかげさまで法人が「サポカレ」を契約しているので、「精神障害とは」というカテゴリで４つの動画を個々で事前に視聴し、実際に会館をご利用されている方々の顔を思い浮かべながら、「会館にどういったことを期待してご利用いただいているのか」、「どういったトラブルが想定されるのか」、「対応の際にはどのような配慮が必要とされるのか」、等を話し合い、意見を共有することができました。

今回の研修では Google の「Jamboard」という、オンライン上のホワイトボードを複数で同時に操作できる機能を使ってみました。とても効率よく意見を共有できるので、まだ使ったことがないようでしたら、みなさまの職場でも一度試されてみてはいかがでしょうか。

今回の内部研修を活かし、会館をご利用いただいている皆様に安心してお越しいただけるよう、継続して励んでいきたいと考えております。

（京都市洛南身体障害者福祉会館：三宅　智章）

伏見エリアTOPICS　【京都市ふしみ学園】

楽しく！音楽レクリエーション♪

２月からふしみ学園の新たなプログラムとして音楽レクリエーションが始まりました。講師は、なづな学園でも音楽療法の講師をされているバイオリニストの吉村先生にお越しいただき、月２回開催していきます。

初回の内容は、吉村先生のバイオリンの生演奏からのスタートでした。こんなに間近で！素敵な音色に皆さんうっとりされていました！:･:･(*´∀｀*)･:･:。

バイオリン演奏の後は、季節の童謡や懐メロなどみんながよく知っている曲をチョイスして、楽器を鳴らして、歌って、そして恋するフォーチュンクッキーも踊りました。最後は、チベットの楽器（ティンシャベル、と言うそうです）を『チーン、チーン・・・・』と、先生が鳴らす奥深く神聖な音色が、、静かに響いて、、和やかな気持ちになりその日のプログラムは終了しました。

多くの人が小さい頃から生活の一部として音楽はとても身近にあり、音楽が流れるだけで自然に身体が動いたり、耳や体で音を感じるだけでリラックス効果がもたらされたり、、、音楽っていろんなパワーがあるように感じます。

でも何より、『楽しんでもらうこと！！』が１番です。好きな曲や苦手な曲、好みはいろいろありますが、、、みんなで楽しい時間を共有できるような音楽レクリエーションの開催を目指して、吉村先生と相談しながらプログラムを考えていきたいです。

（京都市ふしみ学園：蒔田　かをり）

伏見エリアTOPICS（2）　【京都市ふしみ学園】

アトリエやっほぅ!!からのお知らせです！！

国保幸宏さん

この度アトリエやっほぅ!!で初めてフリーペーパーを制作しました。
名付けて「YOOHOO!!TIMES やっほぅ!!タイムス」です。
デザイン事務所 UMMM と何度も打ち合わせを重ねて遂に完成しました。
Ａ３サイズ ８ ページ構成でいわば作品集のようなビジュアル中心の内容です。

その記念すべき第一号は国保幸宏さんの特集です。
インパクトのある「ひつじ」や、デザート系の可愛い作品など国保さんの作品の魅力がいっぱい詰まっています。
作品についての対談も掲載されています。
日頃から関係のある全国の個人、団体やギャラリー、美術館にもお送りしています。

興味をお持ちの方、ご覧になりたい方はまだ余分がありますので、ふしみ学園までご連絡くださいませ！！

「ひつじ」（2014）

（京都市ふしみ学園　：　中島慎也）

山科エリアTOPICS　【山科障害者授産所】

かわいい絵柄のトートバッグ制作中！

山科授産所では自主製品としてオリジナルトートバッグの制作を行っています。

伏見区、山科区の「子どもはぐくみ室」様からご注文を受け、利用者の皆さんと製作に汗を流しています。一つは深草支所のキャラクター「深草うずらの吉兆くん」のトートバッグです。吉兆くんに会った人は、自然と笑みがこぼれ、幸せな気持ちになれるそうです。チャームポイントのピンク色のほっぺには，恋愛成就のパワーがあるという噂です❤️

もう一つのトートバッグは利用者さんの描いたイラストを利用して、リンゴの窓からウサギさんがのぞいているほっこりとしたデザインに仕上げました。イラストを描いてくれた利用者さんは、自分の絵が製品化されてとても喜んでおられ、やりがいに繋がっています。

これからも授産所の商品を通してお客様や利用者さん、スタッフ等関わったみんなが笑顔になれるような、丁寧なものづくりを目指していきます。

（京都市山科障害者授産所：林　安積）

支援センターNEWS　【支援センターらくなん】

「スーパービジョンのすすめ」

「スーパービジョンは絶対にあった方が良い」「やった方がいい」とは言うけれど、では一体どういう事をやっているのか…という疑問や興味があり、2019 年（令和元年）10 月に京都市社会福祉協議会主催の研修会「スーパービジョン入門講座」に参加した事があります。また今年 1 月下旬から 3 月にかけて行われた「主任相談支援専門員研修」の中にもスーパービジョンについての講義・演習がありましたので、ここで少し振り返ります。自分の学びのため、また皆さんのご参考になれば幸いと考えています。

スーパービジョンとは何か…。
スーパービジョンとは、対人援助者を専門職として養成をする過程であり、「支持援助」または「教育」などをしていくプロセスになります。
対人援助では、個人だけではなく幅広い環境への視点や働きかけが必要になります。特に私たちは個人と環境との接点に介入をしていく必要がありますが、それには困難さが伴う。その困難さを乗り越えるために新たな視点や学びが不可欠で、知識面、技術面、感情面での成長が望まれますが、その手助けをする一つの手段がスーパービジョンとなります。

スーパービジョンの手法は、ワーカーの気づきを促す事です。
①ワーカーに何が困っているのか、何を知りたいのかを聴き、一緒に考える。
「聴く」姿勢として「共感」が必要なのですが、ワーカーの語りを「映し返す事」や「要約したり整理する事」で共感が促され、その過程の中で客観的な「困り」が見えてきます。
②その次に、ワーカーに問いかける事で、心の葛藤の言語化を助ける。
その時の気持ちはどうだったのか等、より内面の言語化を促す。言語化によって、無意識、無自覚の意識化を進め、ワーカー自身の気付きを得る過程を支える。
→その結果、自分の事を深く知る事への気づきを促し、成長につながる。

簡単に…ですが、スーパービジョンの必要性・気づきの過程は以上のようになります。
肝心！なのは、実際の職務の中でこのスーパービジョンを意識してどのように取り組む事ができるのか。スーパービジョンでの「スーパーバイザー」は、より専門的なもので担い手が少ない現状があります。またお願いをするとなるとお金がかかる…。なので「難しいよね…」と終わらせるのではなく、スーパービジョンの仕組みの一部を利用し、「現場でできる事」を考えなければなりません。

主任相談支援専門員の研修会では「現場で取り組みやすいやり方」として、スーパーバイザーがいなくても、似たような効果が期待できる「ピアグループスーパービジョン」の演習が行われました。
同じ立場の者同士のスーパービジョンという事になりますが、意識して困りにフォーカスして、共感を持って肯定的に気づきを促す。難しい…と感じた部分もありますが、自分の困りに対して、別の視点・別の見方が導き出される。何よりも「気持ちを汲まれる」という体感があり、なんとも言えない心地よさが素敵だなと感じた演習でした。

最近、他の相談支援事業所からの相談があり、皆困っている事が多いのだなと感じています。「ケアする人のケア」という視点にもつながってくるものであり、地域の中でのスーパービジョンの取り組みを考えていく必要があるなと実感しています。こういった取り組みを形にできないかなと思っていますので、ご協力できる方は「らくなん」までご連絡ください！

（京都市中部障害者地域生活支援センター「らくなん」：大塚秀樹）

STOP コロナ!

誰にもうつしません!

家を出る前に
体調をチェック

熱やのどの痛みなどが
ある時は自宅で過ごす

マスクを正しく着用し
会話はひかえめに

「もしかしてコロナかも」と思ったら、まずは電話で相談を！

身近な医療機関

きょうと新型コロナ医療相談センター ☎075-414-5487
365日24時間　京都府・京都市共通

京都府